

（6）教育上の目的に応じ学生が修得すべき知識及び能力に関する情報 （履修モデルの設定、主要科目の特長、科目ごとの目標等）

履修モデルの設定（令和6年5月1日現在）

学部及び大学院では、計画的な履修のための参考資料として、履修モデル（資格・免許取得の要件充足に向けた履修例を示した表）を設定し、学内向け e-learning システム「moodle」に掲載している。

主要科目の特長（令和6年5月1日現在）

心理学的支援法（人間教育学部 教育・心理学科／2年次配当科目・前期）

代表的な心理療法及びカウンセリングを学習し、併せて、訪問による支援や地域支援の意義、プライバシーへの配慮、心理に関する支援を要する者の関係者に対する支援、心の健康教育について学ぶ。

E・O・L 総論（看護栄養学部 看護学科／2年次配当科目・後期）

まず、死を含めて生きることを考える機会を設け、その上で、最後までよりよく生きることを支えるエンド・オブ・ライフ・ケアの考え方について学んでいく。

調理学（看護栄養学部 健康栄養学科／1年次配当科目・前期）

食事計画から調理操作を経て供食に至る調理のすべての過程を学ぶ。調理に必要な基本理論に関する事柄を科学的に捉え、調理技術の向上及び食生活の応用・実践に役立つ理論を理解する。

被害者臨床援助特論（人間科学研究科 心理臨床学専攻／1年次配当科目・前期）

被害者・被災者の心理に焦点を当て、人的災害（犯罪被害、虐待、事故等）や自然災害（地震、土石流、水害等）による心理的影響や危機介入や緊急支援、コミュニティ・アプローチを含めた臨床援助の有り様を理解する。

科目ごとの目標等（令和6年5月1日現在）

各科目の目標等はシラバスに明示しており、学内外から参照可能である。

シラバス検索
(学部・大学院共通)

https://k-jundai-web.campusplan.jp/public/web/Syllabus/WebSyllabusKensaku/UI/WSL_SyllabusKensaku.aspx

※各科目のナンバリングコードは2桁の英数字（教育・心理学科：13、看護学科：21、健康栄養学科：22、学部の全学共通科目：00、人間科学研究科：GH）で始まる。